校前

の

発生

発生

下野市立緑小学校長 髙橋 美恵子

初夏の候、保護者の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。 また、日頃より本校教育活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。 地震や大雨による水害など、いつどのような災害が発生してもおかしくはありません。 本校では、子ども達の安全を確保できるよう、下記の通り対応要領を作成しています。ご 家庭でも共通理解を図っていただきますよう、ご協力よろしくお願いいたします。

<災害発生時の対応(保護者用)>

1 震度5強以上の地震が発生した場合 〈学校は、児童を保護者のもとに返すことを前提に対応します〉

①自宅(安全な場所)待機とします。

②余震等が続くあるいは学校施設の損壊など、登校時や登校後の危険が予想される と判断した場合、臨時休校とします。その際は学校より保護者宛に、一斉メール にて連絡をします。

③余震等が沈静化し学校施設等に被害がないことが確認できた場合、一斉メールにて、授業再開の連絡をします。児童生徒は必ず学校からの連絡を受けてから登校させるようにしてください。

登 ①〈登校時〉児童は、通学路の状況に配慮しつつ安全な場所に移動します。沈静化 下 した後、<u>学校に</u>移動します。

校 ② 〈下校時〉児童は、通学路の状況に配慮しつつ安全な場所に移動します。沈静化 時 した後、帰宅先に移動します。

在 □直ちに授業等を中止し、児童を安全な場所に避難させます。

校 | ②保護者への引き渡しを行うことを原則とします。

中 <u>※通信手段が確保できない場合においても、下野市の震度が5強以上の時は、保</u> 護者や家族の迎えをお願いします。

③引き渡しができない場合は、児童を安全な場所にて待機させます。都合がつき次第、迎えをお願いします。

※学童保育を利用している児童については、家庭と学童保育担当者で事前に対応を 検討しておいてください。

※「震度5強」は「下野市」の値とする。

(「震度5強」は、市災害対策本部が開設される基準として設定されている値)

※NTT災害用伝言ダイヤルにも学校の情報を登録いたしますので、電話が使える場合には、そちらでも情報を確認してください。

〔伝言の再生〕① 171にダイヤルする →ガイダンスが流れる

- ② 2をプッシュする →ガイダンスが流れる
- ③学校の電話番号(0285-40-6601)をダイヤルし、伝言を 再生する。(新しいメッセージから再生される)

突風等が発生した場合 2

- 沯 ①自宅(安全な場所)待機とします。
- ②学校施設の損壊など、登校後の活動が不可能な場合には臨時休校とします。その 校 際は学校より保護者宛に、一斉メールにて連絡をします。学校からの連絡がない 前 場合には、突風等が通り過ぎた後、児童を登校させてください。
 - ※通常の登校時間以外の登校となった場合も、登校班で登校させてください。
- ①〈登校時〉児童は、通学路の状況に配慮しつつ安全な場所に移動します。突風等 下
- が通り過ぎた後、学校に移動します。 ②〈下校時〉児童は、通学路の状況に配慮しつつ安全な場所に移動します。突風等 校 時 が通り過ぎた後、帰宅先に移動します。
- ①直ちに授業等を中止し、児童を安全な場所に避難させます。
- 校 ②被害状況を確認し、活動が続行可能か否かの判断をします。活動続行が不可能で、 児童を帰宅させることと判断した場合、一斉メールにて保護者に連絡します。そ 中 の場合、保護者への引き渡しを原則としますので、迎えをお願いします。 の
- ※学童保育を利用している児童については、家庭と学童保育担当者で事前に対応を 発 検討しておくよう、お願いします。 生
- ※突風等発生の判断は、目視によるところが大きいため、発生場所近くでの判断が必要 となります。また通過範囲が限定されるため、市内一律ではなく学校毎に状況を判断 し対応することになります。

洪水・増水等により避難勧告等が発令された場合 3

下野市および栃木県全域に「避難準備情報」および「避難勧告」発令時の対応について (気象台が出す特別警報・暴風雨警報・暴風雪警報も含む)

<臨時休校となります>

- ①児童生徒は自宅(安全な場所)で待機させてください。
- ②学校は臨時休校です。登校前までに学校等から一斉メールにより連絡します。保護者が連 **登** 絡がとれないかまたは連絡が届かない場所にいても、ラジオやテレビ等で発令があったこと **校** を知った場合には、お子様を登校させないでください。
- 前 ③避難所等へ家族そろって避難(準備)してください。
 - ④翌日以後、学校等から一斉メールにて、授業再開の連絡があるまでは臨時休校です。

<登校後、保護者へ引き渡しを行います。迎えに来てください。>

- ①登校中に発令された場合には、お子様は通学路の状況に注意しながら、原則としてそのま ま登校します。以後の対応は、「在校時」と同じです。
- ❸ ※ただし、どうしても途中で登校が難しい場合には、お子様へは学校か自宅の近い方に移動 校 するか、近くの家や商店等へ助けを求め、保護者へ連絡を入れるように指導してあります。
- **中** 学校からは安否確認の連絡を入れることがあります。
 - 御家庭では、日頃から災害時等の連絡先をお子様と確認しておいてください。

<教育活動を打ち切り、保護者へ引き渡しを行います。迎えに来てください>

- ①教育活動を打ち切って、お子様を安全な場所へ移動させます (原則は教室です)。
- ②一斉メールにより、保護者へ引き渡しを行う場所をお知らせします。
- **在** ③安全な場所にてお子様を引き渡します。
- 校 ④引き渡しに来校できないか、または来校するのに時間がかかる場合には、お子様を安全な 時 場所にて待機させます。都合がつき次第迎えに来てください。
 - ※引き渡し対応中に「避難指示」に変更された場合には、学校の体育館は避難所になる場合 が多いため、避難所開設後は体育館に避難します。保護者や家族も一緒に避難してください。

<帰宅後、帰宅先で待機し、場合によっては避難してください。>

①下校中に発令された場合には、お子様は安全に注意しながら、<u>原則としてそのまま帰宅先</u>へ下校します。

※ただし、どうしても途中で移動が難しい場合には、お子様へは学校か自宅の近い方に移動 するか、近くの家や商店等へ助けを求め、保護者へ連絡を入れるように指導してあります。

- 校 学校に連絡があった場合には、学校から保護者へ連絡を入れます。
- 中 ②帰宅後は、お子様を帰宅先(安全な場所)で待機させてください。保護者が家に帰れない場合も想定されます。自分の身を守る行動をとるように日頃から話しておいてください。
 - ③避難所等へ家族そろって避難(準備)してください。
 - ④翌日以後、一斉メールにて、授業再開の連絡があるまでは臨時休校です。

* 特別警報・暴風雨警報・暴風雪警報以外の警報・注意報については、学校等から連絡がない限りは平常通りになります。ただし、大雨等で自宅付近が浸水したり、雷雨が激しかったりするなど、危険が感じられるときは、危険がおさまるまで自宅待機となります。

避難指示が発令された場合には、速やかに全員避難所へ避難してください。

4 雷・ゲリラ豪雨など、突然の天気変化による児童の下校について

<基本学校待機といたします。>

- 在 ①学校待機の場合にも、一斉メールにてお知らせします。
- **校** ①各教室で待機します。
- **時** ②天候の回復を待って、それぞれの下校場所へ下校させます。

<学校待機の時間が長くなると判断した場合はお迎えをお願いいたします。>

- ①お子様を安全な場所へ移動させます(原則は教室です)。
- ②一斉メールにより、保護者へ引き渡しを行う場所をお知らせします。
- ③安全な場所にてお子様を引き渡します。
- ④引き渡しに来校できないか、または来校するのに時間がかかる場合には、お子様を安全な場所にて待機させます。都合がつき次第迎えに来てください。天候が回復しましたら、職員がついて下校させる場合もあります。

【緊急の場合の車の迎えについてお願い】

車での迎えの場合は、東から来て左折で北門に入り、西へ出てください。JA の交差点まで行くと信号で渋滞が発生してしまうため、交差点手前の道で南北に分かれて進んでください。

一度に多くの車が学校に集中しますと、渋滞や混雑で近隣の方に迷惑をかける恐れがあります。渋滞を避けるため、学年などにより時間をずらして来ていただくことも考えています。 迎えの方法には状況を見てメールでお知らせします。安全には十分気をつけてください。

